



給食だより

令和7年 6月
豊春中学校

気温や湿度が上昇すると、細菌が原因となる食中毒が多く発生します。細菌は、温度や湿度などの条件がそろそろ食べ物の中で増殖し、その食べ物を食べると食中毒を引き起こします。食中毒予防を徹底して行きましょう。

食中毒を予防しましょう

食中毒予防の原則は、食中毒の原因を「つける」「増やさない」「やっつける」です。石けんを使った手洗いを徹底し、食品購入後は早く冷蔵庫に入れて、冷蔵庫を過信せずに早めに食べること、肉、魚などはしっかりと加熱し、特に肉は中心までよく加熱することが大事です。



家庭での食中毒予防のポイント

食中毒は、家庭の食事で発生する危険性もあります。日頃から食中毒予防を心がけましょう。

1 食品の購入

肉、魚、野菜などは、新鮮なものを選び、表示のある食品は、消費期限などを確認しましょう。購入後は、寄り道せずに帰りましょう。



2 家庭での保存

冷蔵や冷凍が必要な食品は、帰宅後すぐに冷蔵庫や冷凍庫に入れましょう。冷蔵庫で細菌が死ぬわけではありません。早めに使いきりましょう。



3 下準備

手は石けんで洗い、生の肉や魚と生で食べる食品は、包丁やまな板を使いわけましょう。生の肉、魚、卵を扱った後も手を洗いましょう。



4 調理

石けんで手洗いをし、加熱して調理する食品は十分に加熱しましょう。調理を中断する時は、料理を室温に放置せずに、冷蔵庫に入れましょう。



5 食事

清潔な手で、清潔な器具を使つて、清潔な食器に盛りつけましょう。食べる前は石けんでしっかりと手洗いをしましょう。



6 残った食品

残った食品は、小分けにして保存します。保存した食品はなるべく早めに食べるようにして、温め直す時は十分に加熱しましょう。



春日部市の地場産物を知ろう、今月の食育の日献立 6/17



今月の地場産物

梨

今月の食育献立は、春日部の地場産物である梨を使った「梨とにんじんのドレッシングサラダ」です。春日部産梨のピューレとすりおろしたにんじんを調味料と合わせ、ドレッシングにしました。梨の自然な甘味が野菜とよく合います。梨の旬は8月～10月頃とされていますが、一足先に給食に登場します。お楽しみに！

梨のうれしい
栄養素

梨には、リンゴ酸やクエン酸といった栄養素が含まれています。リンゴ酸、クエン酸はさわやかな酸味のもとでもあり、疲労回復効果が期待できる栄養素です。

また、たんぱく質分解酵素を含むため、すりおろして肉料理などに使用すると肉をやわらかくする効果があります。

春日部産の「梨」ぜひチェックしてみてください！

食育の日献立とは？



春日部市では、毎月19日前後を“食育の日”とし、春日部の地場産物を使った献立を提供しています。



今月の給食目標
骨や歯を丈夫にしよう

不足しがちな
カルシウムを
とろう



カルシウムは日本人の不足しがちな栄養素です。しかし吸収率が低く、摂取した量がそのまま利用されるわけではありません。骨粗しょう症などを防ぐためには、食事から多くとる必要があります。カルシウムが多い牛乳・乳製品や小魚、大豆製品、青菜などを毎日の食事で積極的にとりましょう。

10代のうちに！
カルシウム貯金

カルシウムは骨や歯の材料で、不足すると将来、骨がもろくなる骨粗しょう症になりやすくなります。骨量は10代で増加し、20歳前後にピークになります。そのため、10代の頃に骨密度を高めてカルシウム貯金をすることが大切です。牛乳を積極的に飲み、カルシウム貯金をしましょう。



6/4～6/10 は歯と口の健康週間

みなさんは、よくかんで食事をしていますか？

よくかんで食べると、満腹感が得られて食べすぎを防ぐほか、だ液がたくさん出て消化・吸収をよくしたり、むし歯予防になります。また、脳の血流がよくなり、記憶力や集中力を高める効果があるといわれています。この機会に、よくかんで食べることを意識して食事をしてみましょう。

